



# energizeEASTSIDE

よくある質問

## Energize Eastsideとは何ですか？

Energize Eastsideプロジェクトでは、イーストサイドにおける家庭と企業を賄うための新たな変電所と大容量送電線を設置します。この取り組みは既存の送電システムを改善し、イーストサイド地域全体に今後何年にもわたって安定した電力を供給します。

送電線は既存のレドモンドの変電所からレントンの変電所まで張られます。新しい変電所は、現地の送電システムが増え続ける顧客のエネルギー使用量に対応できるようにするためのさらなる送電容量を提供する一方で、送電線は、私たちがその追加の送電容量を、それを最も必要としているイーストサイド地域に提供できるように取組んでまいります。送電線の張られる正確な配線経路や建設が見込まれる変電所の設置場所については、現在実施中の活発な市民参加プロセスと配線要件および制限事項に関する評価を終えるまで定かではありません。

## なぜプロジェクトが必要なのでしょう？

イーストサイドはワシントン州のどの地域よりも、急速な発展を遂げています。私たちは現在、レントンからレドモンドまで、至る所でクレーンが動いたり、交通渋滞が深刻化しているのを目にします。数々の世界的な企業がイーストサイドで事業を展開し、それにより雇用は拡大しています。

地域の発展は良いことですが、それによって既存の電力システムには負担がかかっています。地域発展に関する研究によって、安定した電力への

需要は早くて2017年/2018年の冬に既存の容量を超えると予測されています。これによって停電が発生するわけではありませんが、電力インフラに対する相当な改善と積極的な節電への取り組みを実施しない限り、イーストサイドの電力システムの冗長性は失われ、最大6万人のお客様に影響が及ぶ停電の確率が高まります。

## energizeEASTSIDE

- レドモンドからレントンまで変電所と約18マイル（29km）の送電線を新規建設
- イーストサイドの電力システムが地域の大規模な発展の一助となるよう取り組みを継続
- 現在配線経路を特定中。建設は2017年に開始
- ご意見をお聞かせください:

[pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)

## このプロジェクトのみに依存せず、需要と供給のバランスを取ることはできますか？

過去30年間にわたり、PSEは電力システムを最大限に活用するために重要な対策を講じてきました。2012年には、改良された照明、機器および装置、さらなる耐風雨性、そしてエネルギー効率の良い建築技術を通じて、30,000世帯の家庭への電力供給を滞りなく行うため、PSEのお客様が節電に協力してくださいました。このような節電への積極的な取り組みにもかかわらず、需要が供給を大幅に上回りつつあることが研究によって分かっています。

節電だけでは地域の発展に追いつくことはできません。

## イーストサイドの電力のニーズに対応するための最善策は何ですか？

PSEのプランナーとエンジニアは、節電による需要の削減、既存の送電線容量の拡大、地域内発電および新しいインフラの建設など、イーストサイドで高まるエネルギーのニーズに対応する方法を多角的に分析しました。総合的な審議の後、PSEと独立専門家は、増大するエネルギーのニーズに確実に対応するためには、引き続き節電に取り組みながら、変電所と大容量送電線の新規設置により、インフラを改善するのが最善の方法であるという結論を導きました。

## PSEは新規送電線の配線経路の選択肢をどのように特定したのですか？

PSEのエンジニアと第三者の専門家は、イーストサイドのエネルギーのニーズに対応可能と想定される変電所の設置場所と送電線の配線経路を案を特定しました。ほとんどの送電線の配線経路には既存の115 kVの送電線が設置されています。配線経路の選択肢を考案するにあたり、地理および土地利用などの様々な要素が考慮されました。

PSEは、コンピューターベースの経路評価における業界のリーダーと委託契約を締結し、地形や環境保全特別地域などの地理情報システム（GIS）データを収集し分析しました。GISの特徴を機会および制約に分類して、コンピューターモデルにより最適なバランスを特定しました。モデルにより16件の配線経路区間も特定され、エンジニアが建設可能であることを確認しました。地域諮問グループが評価する配線経路の選択肢18件は、この区間で構成されています。

## 配線経路の選択肢のうち、既存の送電線を使用するものは何件ありますか？

PSEは、可能であれば、既存の回路地帯に沿って新しい送電線を配線できればと考えています。私たちが検討している配線経路の選択肢のうち約70%に、回路地帯に張られた既存の低電圧送電線があります。

## 市民はどのようにプロジェクトに携わるのですか？

イーストサイド地域の価値を最も反映することができるのはどの配線経路の選択肢なのか、皆様にご意見をお寄せいただきたいと思います。PSEはイーストサイドのさまざまな関係者を代表する24人のメンバーで構成される地域諮問グループを招集しました。同グループはPSEと一緒に、どの配線経路の選択肢がさらなる評価の対象となるべきかを絞り込みます。市民、地域諮問グループ、そしてその他のステークホルダーから意見を収集した後、PSEは2015年の初めに、最適な配線経路と変電所を選定します。建設は2017年に開始し、本プロジェクトは2018年に完了する予定です。

2013年12月に本プロジェクトを開始して以来、PSEはイーストサイドの住民、企業および地域のリーダーと会い、プロジェクトの詳細を共有してきました。様々な方法で皆様とのコミュニケーションを図っていきますので、ぜひご協力いただきたいと思ひます。

このプロジェクトへ関与する方法：

- 地域諮問グループの会議に参加または見学してください。
- 地域会議に参加してください。
- ご意見とご質問がございましたら、energizeeastside@pse.comまでメールで、または1-800-548-2614までボイスメールでお問い合わせください。
- 地区または地域のグループ会議にPSEをお呼びいただければ、状況を説明させていただきます。
- 最新情報については、プロジェクトのウェブサイト (pse.com/energizeeastside) をご覧ください。
- 私たちのメーリングリストにご参加ください。プロジェクトの最新情報および関与する機会についての情報を提供しております。

### レドモンドからレントンを経由するSeattle City Light（シアトル市所有の電力会社）の回路地帯を、PSEはなぜ使用しないのでしょうか？

PSEはシアトル市電力の回路地帯を使用することも検討しました。再建設が行われた場合には、この回路地帯はイーストサイドのエネルギーのニーズを満たすことができます。しかし、PSEはシアトル市電力から、この回路地帯はシアトル市の送電システムの重要な要素であるため、その使用を許可することはできないと通知されました。

### PSEは州間高速道路405号線に沿って新しい送電線を張ることはできますか？

ワシントン州運輸局（WSDOT）に州間高速道路405号線の回路地帯に沿って新しい送電線を張る可能性について問い合わせたところ、基準政策によって州間高速道路沿いにライフラインを設置することは認められていないということでした。さらに、州間高速道路405号線の両側に沿って送電線を張ることは非常に大きな課題が伴い

ます。私たちの送電線計画が、将来のWSDOTプロジェクトと折り合わなくなった場合、PSEは送電線を他の場所に移すための十分なリードタイムなしに、WSDOTの管理敷地外に送電線を設置し直さなければなりません。回路地帯の喪失というリスクがあるため、実行可能な選択肢から排除されました。

### この地域に一本のトレールの建設が予定されている今、PSEがEastside Rail Corridor (ERC) への送電線の建設を検討している理由は何ですか？

PSEは、現地の管轄区域であるキング郡および利害関係にあるグループと現在も今後も密接に協力し続けながら、Energize Eastsideプロジェクトと他地域の計画との整合性が取れるように、公有資産として回路地帯を保護するように取り組みます。キング郡全域でのさまざまな事例で示されている通り、トレールに送電線を張れば、トレールと送電線の2つの用途を同時に適えることができます。さらに、PSEはERC諮問委員会のメンバーで、回路地帯に関する開発権を有しています。

### PSEは地中に送電線を設置することはできますか？

地中に送電線を設置することは可能です。しかし顧客にとって重要な信頼性とコストの妥当性という2つの側面から、架空送電線の設置がPSEにとっての第一選択肢と考えています。送電線の地中設置は実行可能な選択肢ではありますが、その最大の問題はコストです。

架空送電線の設置に必要な建設費が1マイルあたり約300万～400万ドルであるのに対し、地中送電線の設置に必要な建設費は1マイルあたり2000万～2800万ドルです。

新しい架空送電線が建設される場合、PSEの110万人の顧客全員がプロジェクト費用を分担し、長い時間をかけて支払いを行います。地中送電線が建設される場合、費用増分が大幅に発生しますが、電力供給地域の顧客のみならず増分を負担することを妥当と考えておりません。



そのため、州で認められている関税規則に基づき、通常は現地の管轄区域である要請者が、この投資を行うか否かを最終的に決定しなければなりません。その後、要請者は架空送電線と地中送電線の設置費用の差額を支払う責任があります。

費用に加え、地中送電線の設置には、環境および地域への影響などの考慮すべきその他の要素があります。

- 地中送電線の設置には幅30～50フィート（9～15.2メートル）分の地役権が必要となり、架空送電線とは異なり、そこからは草木が完全に切り除かれる必要があります。
- 地中送電線の設置には4分の1マイル（400メートル）毎に巨大な（20フィート（6メートル）×30フィート（9メートル））洞道の設置が必要となり、近隣住民や環境に悪影響を及ぼしかねません。
- 地中送電線の修理自体もより困難で時間がかかります。架空送電線は数時間または数日以内に修理することができますが、地中送電線の修理には何日も、また何週間もかかる場合があります。

### このプロジェクトにはどの程度の費用がかかりますか？

プロジェクトの総費用はまだ明確に算定されていませんが、1億5000万ドル～3億ドルになるとの見積もりが出ています。一世帯の電気代の請求書は平均で1か月あたり1～2ドル増加すると

予想されます。配線経路を選定し最終設計および配列を決定した後、より正確な総費用の見積もりを提供できます。

### 電磁場（EMF）についてはどうですか？

電磁場（EMF）は家庭の配線、家電製品、コンピューターまたは電源など、電気の通っている場所であればどこにでも存在します。過去45年間、EMFが人間の健康に何らかの影響を与えるのかを判断するために、多くの科学研究が実施されてきました。現在提示されている証拠では、EMFへの曝露による人体への影響を決定付けるには至らないと科学コミュニティは結論づけています。

安全は常に最優先事項であるため、私たちはお客様に必要な情報を絶えず提供することに努めています。PSEは、EMSについて詳しく説明することが必須と心得ております。EMFに関するより具体的な質問にお答えするため、保健物理学者（独立かつ有資格者）のドリュー・サッチャー（Drew Thatcher）を採用しました。ご質問がある方は、Energize Eastsideチームまでご連絡ください。サッチャー氏が詳しく回答いたします。

### ご意見をお聞かせください

皆様のご意見は、イーストサイドにとって最適な配線経路の選択肢と変電所の設置場所を特定するさい貴重な情報となります。経路検討プロセスへの参加方法および詳細については、私どものウェブサイトをご確認ください。

ご不明な点およびさらなる情報については、プロジェクトのウェブサイト ([pse.com/energizeeastside](http://pse.com/energizeeastside)) をご覧になるか、担当者までお問い合わせください。

- リーン・コステック（Leann Kostek）シニアプロジェクトマネージャー
- ジャクソン・テイラー（Jackson Taylor）コミュニティプロジェクトマネージャー
- ケリー・プラビッツ（Keri Pravitz）コミュニティプロジェクトマネージャー

Energize Eastsideプロジェクトに関するご意見やご質問については、[energizeeastside@pse.com](mailto:energizeeastside@pse.com)または1-800-548-2614（プロジェクトのボイスメール）までご連絡ください。